



Japan Foundation for
Regional Art-Activities

地域創造レター

12月号—No.319

2021.11.25

(毎月1回25日発行)

News Letter to Arts Crew



トリフォニーホール パイプオルガン・クリスマス・コンサート(東京都墨田区)
(オルガン: 第21代札幌コンサートホール専属オルガニスト アダム・タバイディ)
©三浦興一

●目次 / contents

今月のニュース..... 2

令和4年度「公共ホール現代ダンス活性化事業」全体研修会

クリスマス&年越し・新春企画特集

公演カレンダー..... 4

今月の情報..... 7

地域通信 / オンラインを活用した取り組み / アーツセンター情報

財団からのお知らせ..... 13

「公共ホール現代ダンス活性化事業」2023・2024年度登録アーティスト募集 / 令和3年度「公立美術館出前(オーダーメイド)型研修事業」開催報告 / 令和3年度「公共ホール音楽活性化事業」スタート / 令和元・3年度「公共ホール音楽活性化アウトリーチフォーラム事業」市町村公演スタート / 令和3年度市町村長特別セミナー「地域経営塾」終了報告

今月のレポート..... 16

山梨県富士河口湖町 富士山河口湖ピアノフェスティバル 2021

●令和4年度「公共ホール現代ダンス活性化事業」全体研修会

登録アーティストがホールからのライブ配信でプレゼン

令和4年度 公共ホール現代 ダンス活性化事業 全体研修会

2021年10月26日～28日



写真：登録アーティストプレゼンテーションの様子

- 1 北尾巨
- 2 藤田善宏
- 3 田村一行
- 4 中村蓉のワークショップに参加するホール担当者

●公共ホール現代ダンス活性化事業

地域創造から登録アーティストとコーディネーターを地域に派遣。基本的に3年継続を前提とし、アウトリーチ、公募ワークショップを実施するAプログラム(地域交流プログラム)、Bプログラム(市民参加作品創作プログラム)、Cプログラム(公演プログラム)の3つを1年に1プログラムずつ行う(順番は自由)。実施前年度に研修会とアーティスト選びの参考となる公開プレゼンテーションを行う。

◎問い合わせ

芸術環境部 児島・畑
Tel. 03-5573-4077・4075

*例年、「地域創造フェスティバル(7月下旬開催)」の会期中に来年度の事業実施予定団体に向けた全体研修会と登録アーティストによる公開プレゼンテーションを同時開催してきましたが、昨年度に続き今年度も東京オリンピック・パラリンピック競技大会が予定されていたため会期を秋に移し、新型コロナウイルス感染症の影響によりオンラインで実施しました。

「公共ホール現代ダンス活性化事業(ダンス活)」の来年度実施予定団体向けの全体研修会を、今年度も会期を秋に移してオンラインで実施しました(*)。

研修会に参加したのは、令和4年度事業実施予定の大空町教育文化会館(北海道大空町)、西尾市文化会館(愛知県西尾市)、東広島芸術文化ホールくらら(広島県東広島市)、与論町中央公民館(鹿児島県与論町)、茅ヶ崎市民文化会館(神奈川県茅ヶ崎市)、あすとホール(大阪府泉大津市)、天草市民センター(熊本県天草市)、フェニーチェ堺(大阪府堺市)の担当者8名、コーディネーター6名です。

10月26日はZoomによるワークショップ体験と事業説明、27日は2022年度登録アーティスト7名がとしま区民センター(東京都豊島区)からZoomでライブ配信するオンライン・プレゼンテーション、28日はZoomでの企画検討が行われました。

●個性が際立ったプレゼンテーション

プレゼンテーションは、例年25分間で実施するところをオンラインであることを考慮して10分に短縮して行われました。昨年度は初めての

オンラインで試行錯誤でしたが、今回は短い時間でアピールするための工夫が随所に見られ、それぞれの個性が際立ったプレゼンテーションになりました。

一番手で登場した康本雅子さんは、パフォーマンスをしながら「ダンスを見ているときに何を見たいのかは人それぞれ。私はダンサーがゾーンに入る瞬間が好きで見ている」と大画面に映し出された参加者に語りかけるところからスタート。問い合わせが多いという「性教育ワークショップ」の内容を中心に紹介しました。

北尾巨さんは、現在に至る幅広いキャリアをアピール。3歳のときに子役としてミュージカル『ミス・サイゴン』で初舞台を踏み、ミュージカル、ジャズダンス、ヒップホップなどを経て、15年前にコンテンポラリーダンスに出合ったそうです。「コロナを経て、人との触れあいや想像力を働かせる機会の必要性を実感した。コンテンポラリーダンスは観客が想像力を働かせることのできるジャンルだ」と言い、デモンストレーションではチャットを用いて指定された身体の部位を使う「身体パーツ・ワーク」にトライしました。

全身ネコ柄の衣装で登場した藤田善宏さん

▼— 今月のニュース

地域創造からのニュースを毎月掲載します

は、野外×ダンス、マイム×ダンス、越谷サンシティホールで5年間継続している物語×ダンスなどこれまで市民と行った活動をプロモーション映像で紹介。「コロナ禍で接触できないと言われているが、それを打破するアイデアとメンタルを持ち合わせている」と胸を張り、遊び上手な藤田さんが一本のボールペンをカメラの向こうにいる参加者と受け渡し合い、自由に動かして遊びました。

音楽家や造形作家と山猫団というユニットを組む長井江里奈さんは、未経験者向けワークショップの最初に行うという歩くワークをデモンストレーション。ピアニストの生演奏をオンラインで繋ぎ、「ピアノの演奏が止まったら動きを止める」を唯一のルールに、スピードや動きを変化させていく様子を披露しました。

舞踏家の田村一行さんは、素顔から白塗りをして舞踏家に変身するプロセスをライブ配信。「白塗りし、仮面を付けて個性を消すことで気づけなかった自分が出せるようになる。人間は踊っているのではなく踊らされている。今もみんなコロナに踊らされている。そういうところに注目すると面白い」と話し、カメラを通じた顔面パフォーマンスにトライしました。

マニシアさんは、自らの舞踊人生を振り返りながらパフォーマンスを行いました。32年前にニューヨークを拠点にダンス活動を行うなか、自ら臨月のダンサーとして踊ったこと、帰国してママダンスグループを結成したこと、車イスの表現者と出会って障がいのある人とのクリエイションをはじめたことなどなど。「生きている以上、人生には変化の波が絶え間なくくる。それを踊りに導いていきたい」というメッセージに心が動かされました。

最後を締めくくった中村蓉さんは、ダンスのモチベーションである振付を踊ることの楽しさをストレートにアピール。「ワークショップで大切にしているのはこの振付がどのようにしてできあがっているのかを参加者に楽しんでもらうこと」という中村さんは、10分という限られた時間の中で、誰にでもわかる言葉で参加者をリードしながら超短編ダンスを踊りきりました。

参加者からは「事前の資料で感じていたことと異なる印象を受けた」「アーティストの人も感じる事ができ、市民に作品だけでなくそうした側面も紹介してアーティストを身近に感じてもらいたい」という感想も寄せられ、手応えのあるプレゼンテーションとなりました。

※

全体研修会の開催にあたっては、対面での情報交換や交流ができないことを踏まえ、事前に研修会参加団体へのアンケートを充実させ、また、質疑応答ではZoom上にアーティスト毎に異なるミーティング・ルームを設定して個別質問をしやすい工夫も行われました。

最終日の企画検討ではコーディネーターが個別相談に乗るなどして企画をブラッシュアップ。コーディネーターからは対面での交流は叶わなかったものの、「研修会を通して知り合った担当者同士で悩みを共有し、相談しながら取り組んで欲しい」「職場でも共有、相談するなど上司や同僚を巻き込みながら、共感の輪を劇場の外へと広げてほしい」という心構えが伝えられるなど、オンラインではありましたが、事業に向けた確かなキックオフになったのではないのでしょうか。

●令和3年度ダン活実施団体
(主会場/アーティスト/日程)
※11月上旬現在

◎Aプログラム

- ・岐阜県岐阜市(岐阜市文化センター/長井江里奈/11月3日~6日)
- ・福岡県北九州市(北九州芸術劇場/藤田善宏/11月17日~20日)
- ・大阪府堺市(フェニーチェ堺/マニシア/2022年1月20日~23日)
- ・大阪府泉大津市(あすとホール/康本雅子/2022年1月27日~30日)
- ・神奈川県茅ヶ崎市(茅ヶ崎市市民文化会館/藤田善宏/2022年2月2日~5日)

◎Bプログラム

- ・愛知県豊橋市(穂の国とよはし芸術劇場 PLAT/田村一行/7月9日~11日、11月16日~21日)
- ・福島県白河市(白河文化交流館コミネス/康本雅子/12月2日~5日、2022年1月12日~16日)

◎Cプログラム

- ・沖縄県浦添市(アィム・ユニバース てだこホール/北尾亘/7月1日~4日)
- ・石川県野々市市(野々市市情報交流館カメリア/藤田善宏/12月16日~19日)
- ・岩手県宮古市(宮古市民文化会館/田村一行/2022年1月20日~23日)
- ・山形県酒田市(酒田市民会館 希望ホール/中村蓉/2022年2月3日~6日)
- ・山形県鶴岡市(荘銀タクト鶴岡/長井江里奈/2022年2月9日~12日)
- ・愛知県小牧市(小牧市民会館/長井江里奈/2022年3月2日~5日)
- ・徳島県(藍住町総合文化ホール/セレノグラフィカ/2022年3月2日~5日)

●令和4年度「公共ホール現代ダンス活性化事業」全体研修会(オンライン)プログラム

10月26日(火)	
セッション① ワークショップ	オンライン上でコンテンポラリーダンスのワークショップを体験し、ダンスやアーティストへの理解を深めるとともに、参加者同士のコミュニケーションを深める。 [講師] 鈴木ユキオ(ダン活支援アーティスト) [進行] 中西麻友(ダン活コーディネーター)
セッション② ダン活概要説明 取り組みたいこと&ディスカッション	事業の主旨と概要について説明したあと、ダン活で取り組みたいことの発表、事業立案のポイントなどについてディスカッションを行い、企画の内容を整理する。 [進行] 小岩秀太郎(ダン活コーディネーター)
10月27日(水)	
セッション③ アーティストプレゼンテーション	2022年度登録アーティストが10分間ずつプレゼンテーションを実施。 康本雅子、北尾亘、藤田善宏、長井江里奈、田村一行、マニシア、中村蓉
セッション④ フィードバック	プレゼンテーションを踏まえアーティストへの質問を整理し、コーディネーターとアーティストを交えてグループごとに質疑応答、交流を行う。 [進行] 坂田雄平(ダン活コーディネーター)
10月28日(木)	
セッション⑤ プログラム別ディスカッション	研修会を振り返りながら、グループに分かれてディスカッション。事業の目的や考え方などについてコーディネーターからアドバイスを受け、アーティストや対象者を具体的にイメージしながら整理していく。
セッション⑥ 企画発表	セッション⑤を踏まえ、各実施団体の企画内容や将来的なホールの展望を全体で共有し、質疑応答を行う。 [進行] 中富勝裕(ダン活コーディネーター)



クリスマス&年越し・新春企画特集



恒例の「クリスマス&年越し・新春企画特集」の季節となりました。定番のプログラムからユニークな企画まで、各地の取り組みを一挙にご紹介します。

Ⓔは会場、Ⓕは問い合わせ先です(Ⓔは地域創造助成事業)。

写真

左上: 立川シアタープロジェクト・子どもとおとながいっしょに楽しむ舞台『ピノッキオの冒険』(東京都立川市) ©林喜代種

右上: オーケストラ・アンサンブル金沢 クリスマス・メサイア公演(石川県金沢市)

左下: 豊島区管弦楽団&豊島区吹奏楽団 ニューイヤーコンサート(東京都豊島区)

右下: 高野山麓橋本ニューイヤーコンサート(和歌山県橋本市)

クリスマス企画

●北海道函館市 12月19日 HAKODATE WINTER JAZZ FESTIVAL

幅広い世代にジャズの魅力にふれてもらうため、毎年冬に開催しているジャズフェスティバル。今年も函館市内外で活動中のHot Trad Jazz Band、Hakodate Jazz Cats、櫻井三樹Quartetの3組のバンドが登場。寒い冬の函館を、熱いジャズの力で暖める。

ⒺⒻ函館市芸術ホール
Tel. 0138-55-3521

●宮城県白石市 12月4日 渋澤久美クリスマスパイプオルガンコンサート

残響音が約4秒間と国内でも有数の響きを誇るコンサートホールのパイプオルガンによるクリスマスコンサート。ホールオルガニストの渋澤久美が『トッカータとフーガ ニ短調』をはじめとしたオルガンコンサートの定番を中心に演奏する。また、渋澤と小野なおみ(オルガン)でオルガンでは珍しい連弾を取り入れ、4手による幻想的な音の響きが楽しめる。

ⒺⒻ白石市文化体育活動センター(ホワイトキューブ)
Tel. 0224-22-1290

●山形県 12月17日 山響ストリングスシリーズ2021 セレナーデ イン 文翔館〜和装でクリスマス〜

山形交響楽団の弦楽アンサンブルによるコンサート。共に日本を代表するギタリストの福田進一とチェリストの中木健二をゲストに迎え、独奏や二重奏、弦楽アンサンブルとの協奏曲など多彩な編成によるクラシックのほか、タンゴやビートルズの名曲メドレーなど、バラエティに富んだ曲目をお届けする。後日オンライン配信も実施。

Ⓔ山形県郷土館「文翔館」
Ⓕ山形県総合文化芸術館
Tel. 023-664-2220

●福島県白河市 12月25日 Emi NEOZAWA & Sphinx Live de NOËL 2021 クリスマスライブ

パーカッションとヴォーカルを同時に操る独自のスタイルで国際的に活躍する白河市出身の猫沢エミが地元で凱旋。自身がリーダーを務めるジャズコンボバンド・スフィンクスが登場。高度なテクニックと各パートのセッションを軸にした、ジャンル分けしがたい斬新な音楽を披露する。

ⒺⒻ白河文化交流館コミネス
Tel. 0248-23-5300

●埼玉県川口市 12月4日 濱田芳通&アントネッロ G.F.ヘンデル オラトリオ『メサイア』全曲

中世やルネサンス、初期バロック時代の作品を、独創的かつ躍動感あふれる演奏で魅了してきた古楽アンサンブルの濱田芳通&アントネッロによるコンサート。ヘンデル『メサイア』を13名の歌手、器楽陣と共に新たな着想による演奏でお届けする。

ⒺⒻ川口総合文化センター・リリア
Tel. 048-258-2000

●東京都墨田区 12月19日 パイプオルガン・クリスマス・コンサート2021 第1回「0歳からのオルガン・コンサート」

演奏中の手元や足元を舞台上のスクリーンに映し出し、普段は見られない演奏の様子が楽しめるなど、自分のまちにあるパイプオルガンを子どもたちに身近な楽器のひとつとして親んでもらうコンサート。梅干野安未(オルガン)と平野公崇(サクソ)が出演、ジブリメドレーなどを披露する。

Ⓔすみだトリフォニーホール
Ⓕ墨田区文化振興財団
Tel. 03-5608-5404

●東京都立川市 12月24日〜26日

立川シアタープロジェクト・子どもとおとながいっしょに楽しむ舞台「ピノッキオの冒険」

名作文学を題材に、世代を超えて楽しめる演劇を、クリスマスの華やいだ劇場で上演する人気シリーズ。今回の演目はイタリア児童文学の傑作『ピノッキオの冒険』。関連ワークショップ「子ども未来エンゲキ部」で子どもたちが製作した舞台美術を舞台で実際に使用する。

☎たましんRISURUホール
 ㊦立川シアタープロジェクト実行委員会(たちかわ創造舎)
 Tel. 042-595-6347

●新潟市 12月17日

りゅーとびあ オルガン・クリスマスコンサート2021～平和への祈り～

クリスマスの季節に贈る恒例のオルガンコンサート。りゅーとびあ専属オルガニスト・石丸由佳と国内外の一流オーケストラや多くの著名指揮者と共演を果たしているチェロ奏者の伊藤悠貴が『アヴェ・マリア』など祈りの音楽を奏でる。

☎㊦りゅーとびあ新潟市民芸術文化会館 Tel. 025-224-7000

●石川県金沢市 12月12日
オーケストラ・アンサンブル金沢 クリスマス・メサイア公演

70年の伝統を誇る金沢のメサイア公演。今回は石川県出身の小泉詠子(メゾ・ソプラノ)のほか、松井慶太(指揮)、韓錦玉(ソプラノ)、鈴木准(テノール)、青山貴(バリトン)らを迎え、北陸聖歌合唱団と共につくり上げる。新型コロナウイルス感染症対策として人数制限の上で実施される。

☎石川県立音楽堂
 ㊦石川県音楽文化振興事業団
 Tel. 076-232-8111

●長野県松本市 12月17日

語りと音楽で祝う「ジョイフル・クリスマス」

トランペット奏者としてスイスを拠点に活躍する霧生貴之と松本市音楽ホールオルガニストの原田靖子が、なじみ深いクリスマス・キャロルをはじめとした「ジョイフルサウンド」を届けるクリスマスコンサート。前半は、地元松本のインド古典舞踊家・横田ゆうわが語りで綴るクリスマス物語を楽しむ。

☎㊦松本市音楽文化ホール(ザ・ハーモニーホール)
 Tel. 0263-47-2004

●愛知県豊田市 12月5日
クリスマスの情景

日本を代表するオルガニスト・今井奈緒子とバロック音楽の分野で活躍するソプラノ歌手・鈴木美紀子による公演。ドイツやフランスのクリスマスの時期の讃美歌や聖歌が元となった音楽を中心にお届けする。ポジティブオルガンの演奏も予定しており、大オルガンの壮大な響きとポジティブオルガンの優しい音色でパイプオルガンのさまざまな魅力が楽しめる。

☎㊦豊田市コンサートホール
 ㊦豊田市文化振興財団
 Tel. 0565-35-8200

●大阪府泉大津市 12月19日
バリトンクリスマスコンサート 鳥山浩詩

泉大津市出身のバリトン歌手・鳥山浩詩によるクリスマスコンサート。さまざまなオペラやミュージカルに出演し、オーケストラとの共演も重ねる鳥山が、鳥山陽香(ソプラノ)、掛川歩美(ピアノ)と共に、オペラ『魔笛』の「鳥刺しの歌」や『ニュー・シネマ・パラダイス』のテーマ、クリスマスメドレーなどを歌う。

☎㊦あすとホール
 Tel. 0725-20-6778

●神戸市 12月9日、17日、22日
ピフレクリスマスナイト2021

さまざまなジャンルと形態の音楽を3日間で楽しめるクリスマスコンサート。第1夜は、神戸市混声合唱団団員のオペラ歌手2人とピアニストの3人編成。第2夜はジャズボーカリストのキャンディー浅田が出演。第3夜はこの日のために関西のオーケストラシーンを牽引する4名のトロンボーン奏者が集結し、一夜限りの演奏を披露する。

☎㊦長田区文化センター別館
 ピフレホール Tel. 078-621-1120

●兵庫県尼崎市 12月25日、26日
兵庫県立ピッコロ劇団ファミリー劇場「グリム兄弟! ~みんなのメルヘン きかせてダンケ~」

グリム童話『ヘンゼルとグレーテル』などを題材に、歌や踊り、笑いの詰まった、家族で楽しめる演劇公演。通常公演とは別に舞台両側にセリフや音の情報をリアルタイムで表示する鑑賞サポートも行われ、聴こえる人も、聴こえない・聴こえづらい人も楽しめる舞台公演をお届けする。

☎兵庫県立芸術文化センター
 ㊦兵庫県立ピッコロ劇団
 Tel. 06-6426-8088

●兵庫県伊丹市 12月23日
大阪交響楽団 0歳からのクリスマスコンサート

大阪交響楽団による親子で楽しめるクリスマスの特別プログラム。松井慶太による指揮と伊丹市出身のソプラノ歌手・内藤里美との共演で、チャイコフスキー『くるみ割り人形』やアンダーソン『クリスマス・フェスティバル』など、この時期にぴったりの曲を演奏。

☎東りいたみホール
 ㊦いたみ文化・スポーツ財団
 Tel. 072-778-8788

●兵庫県丹波篠山市 12月25日、26日

丹波篠山市民ミュージカル 第10弾「クリスマス・キャロル」

平成13年度に初めて開催された市民参加ミュージカルの第10弾。今回はディケンズの名作『クリスマス・キャロル』を舞台化。総勢57人の市民が出演するほか、舞台・照明・音響など技術スタッフも田園交響ホールボランティアスタッフ集団「ステージオペレータークラブ」が担当する。

☎㊦丹波篠山市民立田園交響ホール Tel. 079-552-3600

●鳥根県松江市 12月18日

オルガンコンサート クリスマスの贈りものSpecial 2021

ブラバホール専属オルガニスト・米山麻美によるクリスマスコンサート。ゲストに地元鳥根県出身の田中俊太郎(バリトン)と、数々のコンクールで優秀な成績を収めている松江プラバ少年少女合唱隊& Plover Pure Blueberryを迎え、高田三郎や大中寅二など明治・大正時代の作曲家の作品などを演奏する。

☎㊦松江市総合文化センター
 ブラバホール Tel. 0852-27-6000

●広島県福山市 12月12日
リーデンローズ・クリスマス・ガラ・コンサート

福山市内の小学生に音楽を届けるアウトリーチ事業「リーデンローズ音楽宅配便」事業などで活躍しているリーデンローズ登録アーティストによる毎年恒例のクリスマス・ガラ・コンサート。今年は9組の登録アーティストが出演。ゲストに、泉真由(フルート)と松田弦(クラシックギター)を迎え、にぎやかにクリスマスを祝う。

☎㊦ふくやま芸術文化ホール
 リーデンローズ Tel. 084-928-1810

●北九州市 12月25日

0才からの親子で楽しむクラシックコンサート

0歳から入場できる親子向けのクラシックコンサート。ピアノ・歌・マリンバの演奏で、クラシックから童謡、クリスマスソングなど盛りだくさんの内容。ベビーカー置き場やおむつ替え・授乳スペースを設置するなど、乳児も安心して参加できる工夫も。

㊤㊤北九州市立響ホール

Tel. 093-663-6661

●大分県大分市 12月12日

音楽劇スタイル クリスマス・リーダーズシアター

開館35周年を記念した音楽劇スタイルの公演。一般公募で集まった市民約30人が、プロによる指導でクリスマスをテーマにしたオリジナルの朗読とクリスマスソングなどに挑戦する。ヴァイオリニスト・朝来桂一率いる大分の演奏家で結成された弦楽カルテットをゲストに迎え、豪華でドラマティックな演奏を披露する。

㊤㊤コンパルホール

Tel. 097-538-3700

年越し・新春企画

●群馬県高崎市 1月1日

第32回高崎元旦コンサート

「音楽のある街・高崎」の年頭を飾る恒例の群馬交響楽団コンサート。芸術監督の大友直人が指揮を務め、ソプラノの森谷真理、ピアノの務川慧悟、ヴァイオリンの山根一仁ら国内外で活躍するソリストが「高崎元旦」に登場。新年の幕開けにふさわしい華やかな名曲をお届けする。

㊤㊤高崎芸術劇場

Tel. 027-321-3900

●千葉県市川市 1月16日

新春 邦楽コンサート

5人の和楽器奏者が、尺八・箏・

笛・三味線・囃子の演奏をお届けする新春コンサート。『春の海』『勸進帳滝流し』『夜叉舞』『紅蓮華』など、邦楽の定番曲から流行曲まで、さまざまな楽曲を披露する。各奏者による楽器解説も行われ、和楽器についてより深く知ることができる機会にもなっている。

㊤全日警ホール(八幡市民会館)

㊤市川市文化振興財団

Tel. 047-379-5111

●東京都豊島区 1月8日、9日

【豊島区管弦楽団&豊島区吹奏楽団】ニューイヤーコンサート2022

ともに創立45年を超える楽団によるニューイヤーコンサート。管弦楽団(8日)は新年にふさわしい華やかな3曲をお届け。ドヴォルザークの「チェロ協奏曲」ではソリストを迎え、魅力的なフレーズをたっぷり聴かせる。吹奏楽団(9日)は誰もが知っているディズニーマの名曲などを演奏する。

㊤豊島区立芸術文化劇場(東京建物Brillia HALL)

㊤としま未来文化財団

Tel. 03-3590-7118

●福井県福井市 1月10日

ニューイヤーコンサート2022 テクノロジーとクラシックで遊ぶ新年!

福井県文化振興事業団、東京藝術大学COI拠点、ヤマハの協同企画で、AI(人工知能)を取り入れた革新的な内容で贈るニューイヤーコンサート。第1部は、小林沙羅(ソプラノ)と西村悟(テノール)によるオペラ『椿姫』の歌に合わせAIが字幕を映し出す世界初の取り組み。第2部は、特別アンサンブルによる演奏で、『四季』より「春」、「秋」をイメージする映像アートがAIによって追従する。

㊤ハーモニーホールふくい(福井県立音楽堂)

㊤福井県文化振興事業団

Tel. 0776-38-8288

●静岡県富士市 1月16日

新春富士ニューイヤーコンサート〜響けオーケストラ 富士山のふもと〜

富士山静岡交響楽団によるニューイヤーコンサート。指揮に篠崎靖男、ピアノに福間洸太郎を迎え、「美しく青きドナウ」やモーツァルトのピアノ協奏曲第26番「戴冠式」、チャイコフスキー交響曲第4番を演奏。

㊤富士市文化会館ロゼシアター

㊤富士市文化振興財団

Tel. 0545-60-2510

●大阪市 12月31日

初心者のための方上方伝統芸能ナイト 大晦日スペシャル!

「芸能の都」大阪で受け継がれてきた豊かで多彩な上方伝統芸能のハイライト部分をダイジェストで上演する「上方伝統芸能ナイト」は、200回を数える人気企画。毎年大晦日は、日を跨いで開催される。落語・女道楽・浪曲・文楽・能といったさまざまな演目を楽しみながら年を越し、振る舞い酒で新年を祝う。

㊤㊤山本能楽堂

Tel. 06-6943-9454



能「高砂」(シテ 山本章弘)

●和歌山県橋本市 1月10日

高野山麓橋本ニューイヤーコンサート

今回で22年目を迎える恒例のニューイヤーコンサート。橋本市

出身の指揮者・木下麻由加と、2020年にこのニューイヤーコンサートのために橋本市を中心とした関西圏の音楽家で結成された「橋本市祝祭管弦楽団」が演奏。同市出身のフルート奏者・森本英希も出演し、コンサートを盛り上げる。

㊤橋本市民会館

㊤橋本市文化スポーツ振興公社

Tel. 0736-33-6108

●岡山市 1月16日

岡山フィルハーモニック管弦楽団ニューイヤーコンサート

岡山県唯一のプロオーケストラによる恒例の新春演奏会。岡山フィルハーモニック管弦楽団は、岡山シンフォニーホールを拠点に、1993年の設立以来、地域の音楽文化の振興と子どもたちの健全育成等を目的に活動している。開館30周年の今年は、実力ある若手演奏家をソリストに迎え、メンデルスゾーン作曲の交響曲第3番「スコットランド」などで新年を華やかに彩る。

㊤岡山シンフォニーホール

㊤岡山文化芸術創造

Tel. 086-234-2001

●山口県防府市 1月7日~10日

第21回防府音楽祭(ほうふニューイヤーコンサート2022)

防府市出身の東京都交響楽団元首席チェロ奏者・田中雅弘が音楽監督を務める音楽祭。毎年田中の呼びかけに応じて国内外で活躍しているアーティストが集結し、さまざまなプログラムを展開。今年は初日の「オープニング街角コンサート」が無料配信されるほか、ゲストアーティストによる「管打楽器特別公開クリニック」(8日)などが行われる。

㊤防府市地域交流センター(アスピラート)ほか市内各所

㊤防府市文化振興財団

Tel. 0835-26-5151

▼ 今月の情報

アートセンター、アーツクローから寄せられた情報を毎月掲載します

地域通信

● データの見方

情報は地域ブロック別に、開催地の北から順に掲載してあります。●で表示してあるのは開催地です。📍マークが付いている事業は地域創造の助成事業です。ラインの下は、事業運営主体、住所、電話番号、担当者名の順に記載してあります。色帯部分が事業名で、以下、内容を紹介しています。

● 地域ブロック

[北海道・東北] 北海道、青森、岩手、宮城、秋田、山形、福島

[関東] 茨城、栃木、群馬、埼玉、千葉、東京、神奈川

[北陸・中部] 新潟、富山、石川、福井、山梨、長野、岐阜、静岡、愛知

[近畿] 三重、滋賀、京都、大阪、兵庫、奈良、和歌山

[中国・四国] 鳥取、島根、岡山、広島、山口、徳島、香川、愛媛、高知

[九州・沖縄] 福岡、佐賀、長崎、熊本、大分、宮崎、鹿児島、沖縄

● 情報提供先

ファックス、電話、e-mailでお願いします。
Fax. 03-5573-4060 Tel. 03-5573-4183
letter@jfra.or.jp
地域創造情報担当 藤原・梅村

● 2022年2月号情報締切

2021年12月20日(月)

● 2022年2月号掲載対象情報

2022年2月～4月に開催もしくは募集されるもの

北海道・東北

● 北海道苫小牧市

苫小牧市美術博物館
〒053-0011 苫小牧市末広町3-9-7
Tel. 0144-35-2550 立石絵梨子
<https://www.city.tomakomai.hokkaido.jp/hakubutsukan/>

収蔵品展 鳥のいる風景

苫小牧市のウトナイ湖は、水鳥の生息地である湿地を保護するラムサール条約に登録されて30年を迎えた。これに関連して、大自然の幻想的な雰囲気に包まれた鳥たちの絵画の展示を、渡り鳥の生態とウトナイ湖の自然史にまつわる展示とともに開催。刻一刻と変化する自然環境と人との関わりを多角的に考える機会を提供する。

[日程] 10月9日～12月12日
[会場] 苫小牧市美術博物館



能登正智《湿原・家族》(1991年/苫小牧市美術博物館蔵)

● 北海道深川市

NPO法人深川市舞台芸術交流協会
〒074-0005 深川市5条7-20
Tel. 0164-23-0320 三ツ井育子
<https://fukagawa-mirai.com>

音楽劇 みらいSHOW学校 劇と音楽の展覧会「時をこえて深川」

ホールの戯曲講座に集まった5人の脚本家と5人の地元演出家、役者たちによる5つのお芝居に、地元の合唱・太鼓の団体、さらにピアニストの中川賢一とテノール歌手の村上敏明が加わった異色のコラボでお届けする音楽劇。総合演出には、戯曲講座の講師も務めた岩崎正

裕を迎え、出演者とスタッフ合わせて総勢100人のメンバーで公演に挑む。

[日程] 12月18日
[会場] 深川市文化交流ホール
み・らい

● 岩手県盛岡市

岩手県立美術館
〒020-0866 盛岡市本宮字松幅12-3
Tel. 019-658-1711 濱淵真弓
<http://www.ima.or.jp/>

開館20周年記念 菅木志雄展 〈もの〉の存在と〈場〉の永遠

岩手県出身の現代美術家・菅木志雄は、「もの」と「場」の本質を掘り下げることで、従来の美術の在り方を問い直す制作姿勢を続けている。本展では、過去に岩手で発表された作品や最新作など約120点の多彩な作品を通観するとともに、展示室の外側にまで展示を広げて、美術館のさまざまな空間を菅作品の「場」とする。会期中には菅が脚本・監督を手がけた映画『存在と殺人』の上映会なども開催。
[日程] 12月18日～2022年2月20日
[会場] 岩手県立美術館



菅木志雄《周集系》(1998年/作家蔵)
撮影:高橋健治 ©Kishio Suga, Courtesy of Tomio Koyama Gallery

関東

● 群馬県桐生市

桐生市スポーツ文化事業団
〒376-0024 桐生市織姫町2-5
Tel. 0277-40-1500 丸本哲也
<http://www.kiryu-piif.jp/index.html>

「大蔵流山本会狂言公演～山口晃×大蔵流山本会～」

桐生市制施行100周年・桐生市

水道創設90周年を記念した特別公演。桐生市にゆかりのある芸術家たちによるアートと伝統芸能を融合した「100年に1度」の夢企画として、桐生市芸術大使でもある画家・山口晃の作品《鏡板》と人間国宝・山本東次郎率いる大蔵流山本会が響演する。

[日程] 12月4日
[会場] 美善仁桐生文化会館

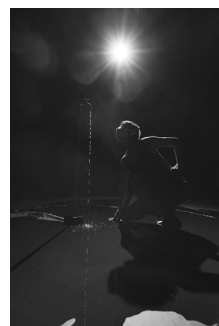
● さいたま市

埼玉県芸術文化振興財団
〒338-8506 さいたま市中央区上峰3-15-1
Tel. 048-858-5500 田中美樹
<https://www.saf.or.jp/>

さいたまゴールド・シアター最終公演「水の駅」

2006年に蛭川幸雄が立ち上げた高齢者劇団「さいたまゴールド・シアター」は、結成以来15年間、国内外で質の高い公演を重ね大きな反響を巻き起こしたが、平均年齢が81歳を超えるなど活動の継続が難しくなってきたことから、活動に区切りをつけることになった。今回の最終公演では、杉原邦生を演出に迎え、太田省吾の代表作『水の駅』を上演。一切のセリフを排し、極端にゆっくりとしたテンポで進む「無言劇」に、高齢者ならではの身体がもつ魅力を生かして挑戦する。

[日程] 12月19日～26日
[会場] 彩の国さいたま芸術劇場



「水の駅」 撮影:宮川舞子

●埼玉県富士見市

キラリ財団

〒354-0021 富士見市大字鶴馬1803-1

Tel. 049-268-7788 中出千尋

<http://www.kirari-fujimi.com/>

キラリンクプログラムVol.1

芸術監督3人いる!企画

『Are You Heroine? ん?』

キラリふじみならではのカラーで、時代やジャンルを超え、人と人、人と劇場との新しい繋がりを見出していく“キラリンクプログラム”の第1弾。現芸術監督の白神ももこと田上豊、前芸術監督の多田淳之介とダンス・パフォーマンス的グループ「モモンガ・コンプレックス」が“ヒロイン”をテーマに、新たなコラボレーション作品を創作する。

[日程] 12月4日～7日

[会場] 富士見市民文化会館キラリ☆ふじみ

●東京都江戸川区

江戸川区総合文化センター

〒132-0021 江戸川区中央4-14-1

Tel. 03-3652-1111 余村亜紀子

<https://edogawa-bunkacenter.jp/>

第1回えどがわBOXART展

～箱の中に自分を表現してみよう 箱の中にある他者の気持ちを受け入れてみよう～

誰もが簡単に自分自身の世界観を体現できるボックスアート作品を広く一般公募し、展示する日比野克彦監修企画。会期後には気に入ったボックスアートを譲り受け、持ち帰ることができるという新たな試みにも挑戦



イラスト:小林大悟

する。本展を通じて、自分を見つめ、他者を理解し、受け入れるための一歩を多くの人に踏み出してもらおうとともに、「誰一人取り残さない」というSDGsの理念を考える機会として継続開催を予定。

[日程] 11月18日～12月19日

[会場] 江戸川区総合文化センター

●横浜市

横浜能楽堂

〒220-0044 横浜市西区紅葉ヶ丘27-2

Tel. 045-263-3050 遠山香織

<https://yokohama-nohgakudou.org/>

横浜能楽堂普及公演

『眠くならずに楽しめる能の名曲』

毎年好評の「眠くならずに楽しめる能の名曲」シリーズ第4弾。初めての人には難解で、鑑賞していると「眠くなる」と言われてしまう能だが、本公演では初心者でも飽きずに楽しめる能『紅葉狩』と狂言『節分』を上演。事前に公演をより楽しめるポイントを解説することで、能・狂言の新たな魅力を知ることができる内容となっている。

[日程] 12月11日

[会場] 横浜能楽堂

●川崎市、東京都豊島区

ミューザ川崎シンフォニーホール・東京芸術劇場

〒212-8557 川崎市幸区大宮町1310

Tel. 044-520-0100 山田里子

<https://www.kawasaki-sym-hall.jp/>

第12回 音楽大学オーケストラ・フェスティバル2021

首都圏9つの音楽大学(上野学園大、国立音大、昭和音大、洗足学園音大、東京音大、東京藝大、東邦音大、桐朋学園大、武蔵野音大)と2つの公共ホール(ミューザ川崎シンフォニーホール、東京芸術劇場)が、互いの協力と交流を目的に、毎年開催

しているフェスティバル。秋の大学別公演以外にも、春には選抜メンバーで結成した合同オーケストラ公演を行い、若手演奏家の交流・育成を図る。

[日程・会場] 11月23日、12月4日: ミューザ川崎シンフォニーホール / 11月26日、27日: 東京芸術劇場

北陸・中部

●富山県富山市

富山市ガラス美術館

〒930-0062 富山市西町5-1

Tel. 076-461-3100 中島・米田

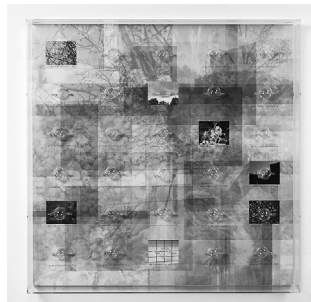
<https://toyama-glass-art-museum.jp/>

富山ガラス造形研究所創立30周年記念展:未来へのかたち

富山ガラス造形研究所は、富山市の35年来にわたる「ガラスの街とやま」事業の大きな一歩として創設された、公立としては初のガラス作家養成機関。本展はその創立30周年を記念して、歴代教授陣や卒業生による多種多様な作品が、「つながる時間」「越境するうつわ」「未見の造形を求める」など5つのテーマのもと一堂に会する。また、ガラス以外のジャンルで活動する卒業生の紹介映像も展示。

[日程] 10月23日～2022年1月23日

[会場] 富山市ガラス美術館



小曾川瑠那《息を織る-April 2021》
(2021年/作家蔵)

●山梨県南アルプス市

南アルプス市立美術館

〒400-0306 南アルプス市小笠原1281

Tel. 055-282-6600 矢野晴代

<https://www.minamialps-museum.jp/>

開館30周年記念

美術館のスター作品勢揃い展

郷土出身の画家・名取春仙の画業を広く紹介することを目的に誕生し、その後「市民に開かれた、市民のための美術館」としてリニューアルした南アルプス市立美術館。本展は多くの人々の支えがあって今があるということを振り返る意味を込めて、資料等も含めた約5,000点の収蔵品から、名取春仙や土橋芳次、川瀬巴水らの絵画など、美術館を象徴する作品や市民に人気の高い作品を厳選して展示。

[日程] 10月16日～2022年1月16日

[会場] 南アルプス市立美術館

●岐阜県岐阜市

サラマンカホール

〒500-8384 岐阜市藪田南5-14-53

Tel. 058-277-1113 金子根古

<https://salamanca.gifu-fureai.jp/>

サラマンカホール・プロデューサー・オペラ 木下牧子作曲

『不思議の国のアリス』

子どもも楽しめる本格的なオペラの上演を目指し、2012年から始まったオペラ事業。今年には2014年に初演された小編成オペラ『不思議の国のアリス』が、新演出で再び登場。オーディションで選ばれた歌い手と、2019年のサラマンカホール・オペラ『子どもと魔法』で好評を得た新鋭の演出家・乃村健一とのタッグも見どころ。

[日程] 12月5日

[会場] サラマンカホール

●浜松市

浜松市美術館

〒430-0947 浜松市中区松城町100-1

Tel. 053-454-6801 島口直弥

<https://www.city.hamamatsu.shizuoka.jp/artmuse/>

▼— 今月の情報

アーツセンター、アーツクルーから寄せられた情報を毎月掲載します

静岡県立美術館 超名品展 風景と人間

県内の各市町村を会場に、コレクションの魅力を紹介する静岡県立美術館の「移動美術展」の一環として開催する2館連携展。モネやゴッホ、和田英作や佐伯祐三のほか、秋野不矩や中村宏など浜松ゆかりの作家による風景画を中心に展示。東西の作家が見つめたさまざまな風景を通して、人間の暮らしや人間の内面、そして自然との関わりへと話題を広げ、浜松の風土を見つめ直す。

[日程] 11月13日～12月19日

[会場] 浜松市美術館

●愛知県

愛知県芸術劇場

〒461-8525 名古屋市中区東桜1-13-2

Tel. 052-971-5609 唐津絵理
<https://www-stage.aac.pref.aichi.jp/>

愛知県芸術劇場×Dance Base Yokohama DaBYアソシエイト コレオグラファー 鈴木竜 トリプルビル

グローバルに活躍するダンサー・振付家を育成・輩出するDance Base Yokohama (DaBY)と、ダンスの創作公演や招聘公演を続けてきた愛知県芸術劇場の連携によるダンス公演。DaBYアソシエイトコレオグラファーの鈴木竜が上演する新作3本すべての演出・振付を担う。鈴木ソロや、元ネザerland・ダンス・シアター(NDT)の飯田利奈子など国際的に活躍するダンサー4名、オーディションで選ばれた東海圏のダンサーの作品を上演する。

[日程] 12月3日～5日

[会場] 愛知県芸術劇場

●愛知県東海市

東海市芸術劇場

〒477-0031 東海市大田町下浜田137

Tel. 0562-38-7030 黒田恵美子

<https://www.tokai-arts.jp/>

第6回東海市紅白歌合戦

開館以来行われている年末の恒例企画。東海市在住・在学・在勤であれば誰でもエントリーが可能で、今年も厳正なオーディションで選ばれた市民アーティスト22組が出場。歌合戦の間には応援合戦なども行われ、劇場が運営する育成団体のひとつ「東海市ダンスチームMiakot」と東海市で活動している和太鼓「嚶鳴座」が出演。

[日程] 12月26日

[会場] 東海市芸術劇場

近畿

●滋賀県大津市

びわ湖芸術文化財団

〒520-0806 大津市打出浜15-1 (びわ湖ホール内)

Tel. 077-523-7146 藤原顕太
<https://biwako-arts.or.jp/rd/>

滋賀で人と社会と文化芸術をつなぐプロジェクト“SANPOh” 守山市民ホール×湖南ダンスカンパニー「くらすダンス展」

文化芸術活動と、福祉・教育など地域社会のさまざまな営みが繋がることで生まれる多様な価値や豊かさに着目し、出会いの場を県内各地に増やしていくプロジェクト“SANPOh”。その一環として、湖南地域に住む障害のある人が中心となり、国内外で活躍する湖南ダンスカンパニーがホールを拠点に滞在制作を行う。公開ワークショップやトークなども開催し、日々の“くらし”と繋がった“ダンス”をさまざまな形で紹介する。

[日程] 10月16日～12月19日

[会場] 守山市民ホール

●京都市

京都市音楽芸術文化振興財団

〒616-8065 京都市右京区太秦安井西裏町11-6

Tel. 075-822-3349 鈴木康之

<https://www.kyoto-ongeibun.jp/kyo/>

京都・太秦キネマのまち ～名作映画誕生の地～

「映画のまち・右京」の業績を振り返る開館20周年記念事業。第1部では、会館建設前に同地にあった東洋現像所(現IMAGICA Lab.)で現像された名作『羅生門』の上映とジャーナリストによる講演会を、第2部では映画関係者による座談会や殺陣の試演、『太秦ライムライト』の上映を行うなど、太秦の映画文化の魅力を存分に味わえる。

[日程] 12月4日

[会場] 京都市右京ふれあい文化会館

●京都府城陽市

城陽市民余暇活動センター

〒610-0121 城陽市寺田今堀1
Tel. 0774-55-1010 武井重人

<http://www.bunkaparcjoyo.net/>

ジャズ&ラテンフェスティバル West vs. East

関西ジャズ界の名門老舗バンド、アロージャズオーケストラが奏でるスウィングナンバーと、関東のラテン・ビッグバンドとして長い歴史をもつ見砂和照と東京キューバンボーイズの競演。ゲストシンガーに神野美伽を迎え、グレン・ミラーやペレス・プラードの名曲を演奏。ビッグバンドならではの迫力あるステージが展開される。

[日程] 12月2日

[会場] 文化バルク城陽

●大阪府茨木市

茨木市文化振興財団

〒567-0888 茨木市駅前4-6-16
Tel. 072-625-3055 上田久美子

<https://www.ibabun.jp/>

義足のダンサー・女優 森田かずよさんとみんなで作るダンス公演『そう、それはいつか繋がるダレカのお話』

「義足のダンサー・女優」として知られる森田かずよと一緒につくり上げる市民参加型ダンス公演。追手門学院大学地域創造学部の協力の下、9月から全12回のワークショップを重ね、一般公演を迎える。当日は市民参加作品をはじめ、森田のソロダンス作品や森田と吉野さつき氏(愛知大学文学部教授)とのトークセッションなども行われる。

[日程] 12月5日

[会場] 茨木市市民総合センター(クリエイティブセンター)

●兵庫県川西市

みつなかオペラ実行委員会

〒666-0015 川西市小花2-7-2 (みつなかホール内)

Tel. 072-740-1117 丹治亜弥子
<https://www.kawanishi-bunka-sports.com/bunka/index.html>

みつなかオペラ モーツァルト:
歌劇『ドン・ジョヴァンニ』

川西市の音楽家を中心に舞台芸術家らで構成された実行委員会により制作している本格的なオペラ公演。地域から充実した内容のオペラを発信することを目指して毎年公演を重ねており、令和2年度には文化庁芸術祭優秀賞を受賞するなど高い評価を得ている。今回は、みつなかオペラの第30回とホール開館25周年を記念し、市民からのリクエストも多いモーツァルトの代表作を、満を持して上演する。

[日程] 12月11日、12日

[会場] 川西市みつなかホール

●兵庫県豊岡市

豊岡市民プラザ

〒668-0031 豊岡市大手町4-5
アイティ7F

Tel. 0796-24-3000 川口・野村
<http://platz-npo.com/index.html>

おとなのための演劇学校Ⅲ 戯曲創作錬成講座と舞台技術 クリエイション講座

劇作家・演出家の鄭義信を講師に迎えた戯曲講座。豊岡駅を舞台とした戯曲を公募し、講座の中で推敲を行う。3回目となる今年、音響講師の藤田赤目、照明講師の乳原一美と共に、仕込みから本番オペレーションまでの舞台技術プランについて学ぶ舞台技術クリエイション講座を同時開催する。2週の戯曲講座を経て上演作品を選び、3週目の最終日に、両講座受講生による成果発表公演を行う。
[日程]第1週:11月19日~21日、第2週:11月26日~28日、第3週:12月10日~12日
[会場]豊岡市民プラザ

●奈良県奈良市

奈良市アートプロジェクト実行委員会
〒630-8580 奈良市二条大路南1-1-1(奈良市文化振興課内)
Tel. 0742-34-4942 荒益克文
<https://kotohogunara.jp/>

奈良市アートプロジェクト 古都祝奈良2021-2022 「ならのまち演劇フェス」

美術や演劇などの現代的な表現を通じて、古都・奈良の新しい価値の創造を目指すアートプロジェクト。田上豊をプログラムディレクターに迎え、「ならのまち演劇フェス」を初開催。中高生による演劇創作や青年団による公演、0歳から大人までが楽しめるワークショップなどを行う。また、文化団体や文化施設がフェスに併せて開催する「ならのまち演劇フェス フリンジ」も実施予定。
[日程]11月27日~12月25日
[会場]ならまちセンターほか

中国・四国

●鳥取県鳥取市、岡山県津山市ほか
鳥取・岡山共同プロジェクト「ライブで作ろう 元気と未来!」実

行委員会
〒689-0405 鳥取市鹿野町鹿野1812-1(鳥の劇場内)
Tel. 0857-84-3268 中島・後藤
<https://www.birdtheatre.org/jlyp2021/>

鳥取・岡山共同プロジェクト 「ライブで作ろう 元気と未来!」

コロナ禍で奮闘する全国のライブ関係者を応援する芸団協ほか主催「JAPAN LIVE YELL project」(文化庁補助事業)の一環で、鳥取県・岡山県で活動する子ども関係団体や劇場、劇団、文化振興財団、短期大学等が協働して行う、子どもと家族のためのアートプロジェクト。乳児親子向けの「ベイビーシアター」や人形劇、大道芸やダンスワークショップ、ピアノやオーケストラによるコンサート、観客参加型公演やワークショップ、短期大学生との交流など、新鮮な体験に出会える事業を展開する。

[日程]11月11日~12月26日
[会場]とりぎん文化会館、音楽文化ホール ベルフォーレ津山、ハワイアロハホール、笠岡市保健センター ギャラクシーホールほか



tupera tupera 亀山達矢「みんなで作ろう!」
「TOT-TORA(トットラ)」(鳥取)

●鳥取県米子市

鳥取県文化政策課
〒680-8570 鳥取市東町1-220
Tel. 0857-26-7843 富田美加
<http://www.dentou-geinou.net/>

第12回とっとり伝統芸能まつり

県内各地の伝統芸能が一堂に会する伝統芸能まつり。今回は「高城牛追掛節」や「鹿野亀井踊り」など、各地域が誇りとして世代から世代へ大切に受け継が

れてきたさまざまな踊りや神楽、獅子舞といった伝統芸能が披露される。昨年度実施した無観客配信ライブが好評であったことを受け、今回は公演終了後に動画配信を行う予定。

[日程]12月5日
[会場]米子市公会堂

●広島市

広島市文化財団
〒730-0812 広島市中区加古町4-17
Tel. 082-244-8000 岡本忠久
<http://h-culture.jp/>

平原慎太郎ダンサー育成プログラム「ADDANCE vol.3」

2019年より行われてきた、ダンスカンパニーOrganWorks主宰の平原慎太郎によるコンテンポラリーダンサー育成プログラム。3年目となる今回は、7月の全国オーディションにより選抜されたダンサーが平原のアドバイスをを受け、自分たちで考えた振付も取り入れながらつくり上げた新作を、OrganWorksメンバーと合同での成果発表公演として披露する。

[日程]12月25日、26日
[会場]JMSアステールプラザ

●山口県宇部市

宇部市文化創造財団
〒755-0041 宇部市朝日町8-1
Tel. 0836-35-3355 河内律子
<https://wmh.ube-bunzai.jp/>

交響曲UBE完成披露メモリアルコンサート2021

宇部市の発展に大きな功績を果たした渡辺祐策の遺徳を称えるために1937年に建てられた渡辺翁記念会館。国の重要文化財であり、音響に定評のあるこの会館で、宇部市制100周年の今年、宇部市出身の音楽家・磯部俊哉が、生まれ育った宇部を想い作曲した4楽章から成る「交響曲UBE」を、村上寿昭の指揮、

長崎OMURA室内合奏団の演奏により初披露。宇部市を「交響曲のあるまち」にするという企画のお披露目公演となる。

[日程]12月7日
[会場]宇部市渡辺翁記念会館

●山口県山口市

認定NPO法人こどもステーション山口
〒753-0088 山口市巾着町5-12
Tel. 083-928-6666 山本有希
<http://www.akarenga.justhpbs.jp/>

「曾根麻矢子チェンバロリサイタル」~絢爛たるバロックの花園にて~

クリエイティブ・スペース赤れんがが所蔵する18世紀フレンチモデルのチェンバロをお披露目する恒例のコンサート。1995年に山口市が製作したチェンバロで、史実にちなみ、大内氏の家紋「大内菱」とザビエルの紋章が施されている。今回は、実力、人気ともに日本を代表するチェンバロ奏者・曾根麻矢子が、ラモー作曲『鳥の呼びかわし』などの演奏で、優雅で華やかなチェンバロの音色を披露する。

[日程]12月4日
[会場]クリエイティブ・スペース赤れんが

●愛媛県久万高原町

町立久万美術館
〒791-1205 上浮穴郡久万高原町菅生2番耕地1442-7
Tel. 0892-21-2881 中島小巻
<https://www.kumakogen.jp/site/muse/>

久万美コレクション展I 絵画の裏

見慣れた絵画作品が、実は両面作品であるということに着目した所蔵品展。絵画には、制作年や出品した展覧会の搬入ラベルなどのメモのほか、絵画を蒐集したコレクターの書簡が貼付されていることもある。絵画の

▼— 今月の情報

アーツセンター、アーツクルーから寄せられた情報を毎月掲載します

裏側に隠された手がかりから、作品の新たな魅力を発見し、絵画鑑賞をさらに楽しんでもらう。
[日程] 10月2日～2022年1月30日
[会場] 町立久万美術館



裏表両面が展示された会場の様子

九州・沖縄

●福岡県

アクロス福岡

〒810-0001 福岡市中央区天神1-1-1

Tel. 092-725-9317 小牧達彦

<https://www.acros.or.jp/>

VR能 能「経正」「熊野」「葵上」より

2020年に世田谷パブリックシアターで初演され絶賛を博した「VR能 攻殻機動隊」プロジェクトチーム(演出:奥秀太郎、映像技術:福地健太郎 ほか)がつくり出す、能と最先端のVR技術を融合した新作舞台。人気の3演目『経正』『熊野』『葵上』の見所を取り上げ、能の繊細で幽玄な表現と、VRで描く映像美の融合をVRゴーグルなしで体験することができる。出演は能楽師の坂口貴信、谷本健吾ほか。

[日程] 12月4日

[会場] アクロス福岡

●福岡県大野城市

大野城まどかぴあ

〒816-0934 大野城市曙町2-3-1

Tel. 092-586-4006 井上万里枝

<http://www.madokapia.or.jp/>

まどかぴあバックステージ探検 2021～怪盗クロの謎を追え!～

大野城まどかぴあに届いた怪盗クロからの挑戦状を手がかりに、探偵になって会場内に

散りばめられた謎を解くという内容。小学生を対象とし、普段はなかなか見ることができないホールの裏側を捜査しながら、楽しく体験することができる。

[日程] 12月5日

[会場] 大野城まどかぴあ

●福岡県春日市

春日市ふれあい文化センター

〒816-0831 春日市大谷6-24

Tel. 092-584-3366 樋口美佐子

<https://www.kasuga-fureai.jp/>

～春日ゆかりのアーティストシリーズ～未来に羽ばたけ! 栗山かなえ クラリネットリサイタル

春日市に縁のあるアーティストが出演するコンサートシリーズ。今年度は、春日市で育った若きクラリネット奏者・栗山かなえによるリサイタルを開催。高校時代から県内外で精力的に演奏活動を行い、コンクールでも数々の賞を受賞してきた栗山と、その母校である春日高校吹奏楽部との共演も見どころ。

[日程] 12月19日

[会場] 春日市ふれあい文化センター

●長崎県長崎市

長崎市文化振興課

〒852-8104 長崎市茂里町2-38

長崎ブリックホール4F

Tel. 095-842-3782 松藤有紀

<https://nagasaki-bunka.jp/>

市民参加舞台「ながさきのたね」

総合演出に地元長崎の劇作家・演出家の福田修志を迎え、ブリックホール開館20周年となった平成30年からスタートした市民参加公演。戯曲や音楽をつくっていくなかで、さまざまな人に出会い、インタビューを通して知ることができた長崎の街と人の話を演劇作品にする。約40人の市民が出演するほか、照明や音響なども長崎の技術スタッフ

で実施する。

[日程] 12月25日、26日

[会場] 長崎ブリックホール



「ながさきのたね」稽古風景

●沖縄県那覇市

那覇文化芸術劇場なはーと

〒900-0015 那覇市久茂地3-26-27

Tel. 098-861-7810 平岡あみ

<https://www.nahart.jp/>

那覇文化芸術劇場なはーと こけら落としシリーズ「三番叟・唐人相撲～なはーと編～」

那覇文化芸術劇場なはーとは創造型劇場として10月31日開館。こけら落としシリーズのひとつとして、琉球芸能のエッセンスを取り入れた狂言『唐人相撲～なはーと編～』を上演する。野村万作、野村萬斎、野村裕基ら出演、構成に琉球芸能実演家である嘉数道彦が加わり、琉球芸能実演家や公募で集まった市民も参加する。

[日程] 12月12日

[会場] 那覇文化芸術劇場なはーと

オンラインを活用した取り組み

新型コロナウイルス感染症の影響により、各地で広がるオンラインを活用した取り組みをご紹介します。

※実施施設の北から順に掲載

●東京都世田谷区

世田谷美術館パフォーマンスシリーズ トランス/エントランス特別篇「夢の解剖—猩々乱」

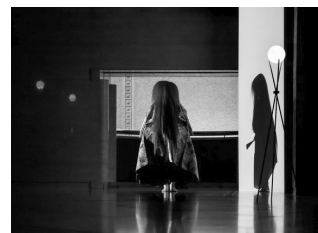
イタリア人振付家・演出家ルカ・ヴェジェッティが、第一級の能楽師たちと組んでつくり上げた『夢の解剖—猩々乱』。エントランス・ホールを実験的な表現の場とするパフォーマンスシリーズとして2021年10月に上演された本作は、生の作品にふれられない人々にも届けるため映像作品としての製作も企画。今注目の映画監督・杉田協士を映像プロデューサーに迎え、もうひとつの“作品”として製作・配信する。

[配信期間] 12月1日～2022年3月31日(有料)

[URL]<https://www.setagayaartmuseum.or.jp/>

[問い合わせ] 世田谷美術館

Tel. 03-3415-6011



「夢の解剖—猩々乱」 撮影:今井智己

●横浜市

バーチャル版芸術フェスティバル事業「横浜WEBステージ」

最新技術を用いて収録したアーティストのパフォーマンスを配信し、誰もが自由に鑑賞することができるバーチャル版芸術フェスティバル。ドローンや高解像度カメラ、360度カメラ、小型広角カメラなど16台のカメラを使用した自由視点撮影等により、普段とは違う視点を体験することができる。自宅でプロ奏者と共演できる伴奏動画の配信や、過去の公演のアーカイブ配信も行っている。

[URL]<https://yokohamawebstage.jp/>

[問い合わせ] 横浜みなとみらいホール Tel. 045-682-2020

▼— 今月の情報 (アーツセンター編)

新たにオープンした公立のアーツセンターを紹介します

アーツセンター情報

● 福島県矢吹町

矢吹町複合施設KOKOTTO

〒969-0213 西白河郡矢吹町本町165

Tel. 0248-42-2829

<https://kokotto.jp/>

◎ 2020年10月14日オープン



矢吹・中畑・三神の3つの地区公民館とともに親しまれている中央公民館に、図書館や託児所「未来くるステーション」などを併設して出来た複合文化施設。

中央公民館には、演奏会や集会、スポーツなどさまざまな用途に活用できる最大収容人員200人のKOKOTTOホールと、イベント出演者の控室としても使用できる20人程度収容可能な防音スタジオのほか、絵画や手芸教室を開催できるアトリエやマルチルーム、和室、会議室などを備える。

またKOKOTTOには、町民交流ホールや、江戸時代より矢吹町で受け継がれている大屋台の屋台蔵も入っており、町民の憩いの場、豊かな人を育てる場、文化の継承・創造の場、そして観光資源の発信地としても期待される矢吹町のシンボルとなっている。

[施設概要] 中央公民館(KOKOTTOホール(収容人員200人)、マルチルーム2室、アトリエ)、図書館、未来くるステーション、町民交流ホール、屋台蔵ほか

[設置者] 矢吹町

[管理・運営者] 矢吹町教育委員会

[設計者] 福島県建築設計協同組合

● 三重県津市

津市久居アルスプラザ

〒514-1136 三重県津市久居東鷹跡町246

Tel. 059-253-4161

<https://www.tsuhsai-ars.jp>

◎ 2020年10月1日グランドオープン



津市の新たな文化振興をリードする拠点施設として、久居東鷹跡町の旧久居市役所跡地に「地域をつなぐ開かれた独自性のある文化芸術の創造拠点」をテーマに整備された。

市内のホールでは初のオーケストラピットを備えた「ときの風ホール」をはじめ、展示会や小規模の演劇・コンサートなどが開催できるアートスペース、本格的な展示が可能なギャラリー、演奏が録音できるバンドルームのほか、さまざまな活動の場となるカルチャールームやアトリエなども備え、幅広いニーズに対応。また、ガラス張りで開放的なエントランスロビー「ひさしいアートスクエア」では、人と芸術が出会う場所としてはもちろん、テーブルを設置することで市民の交流の場となっている。

文化芸術にとどまらない、さまざまな交流をつくり出すユニークな施設として、地域から期待が高まっている。

[施設概要] ときの風ホール(720席)、アートスペース(245㎡)、ギャラリー(198㎡)、アトリエ(34㎡)、バンドルーム、ピアノルーム、カルチャールーム3室ほか

[設置・管理者] 津市

[運営者] (株)ケイミックスパブリックビジネス

[設計者] 久米設計・アポア共同企業体

● 大分県佐伯市

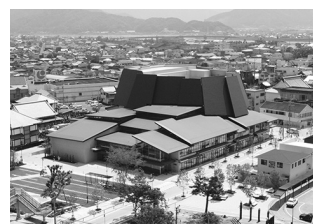
さいき城山桜ホール

〒876-0831 佐伯市大手町2-2-28

Tel. 0972-24-2228

<https://sakura-hall-saiki.com/>

◎ 2020年10月31日オープン



中心市街地活性化と市民交流の拠点として整備された、ホール、食育活動、子育て・子育て支援、市民協働スペースを備えた複合文化交流施設。

計画段階から市民が参画し、開館後も自主事業の企画運営を担う運営委員会を市民の代表で組織。自主事業運営サポートや映画イベント等の企画運営を行う「ホールサポーター」にも約50人の市民が所属し活動している。本格的なコンサートが開催可能なシューボックス型の大ホール、平土間の多目的な小ホールはともに壁の一部が開閉し、隣接する広場に繋がる広々とした空間をつくり出せる仕様となっている。また、大ホール以外の諸室は空いていれば当日でも利用申し込みができるなど、市民が利用しやすい運営を行っている。今後も文化芸術の振興並びに多世代による多様な交流および活動を推進し、市民の豊かな心の育みと地域のにぎわい創出に寄与することを目指す。

[オープニング事業] 開館記念コンサート&文化芸術フォーラム

[施設概要] 大ホール(810席)、小ホール(約180席)、スタジオ5室、会議室2室、創作工房ほか

[設置・管理・運営者] 佐伯市

[設計者] (株)久米設計九州支社

● データの見方

情報は所在地の北から順に掲載しています。●で表示してあるのはアーツセンターの所在地です。以下名称、住所、電話番号、公式サイトURLを記載しています。また、基礎データとして、設置者、運営者、ホール席数など施設概要を紹介しています。

● 情報提供のお願い

地域創造では、地域の芸術環境づくりを積極的に推進するアーツセンター(ホール、美術館などの施設のほか、ソフトの運営主体も含まれます)の情報を収集しています。特に、新規の計画やオープンなどのトピックスについては、この情報欄に掲載していく予定です。このページに掲載を希望する情報がございましたら、情報担当までご連絡ください。

● 情報提供先

地域創造レター担当
Fax. 03-5573-4060
Tel. 03-5573-4183
letter@jafra.or.jp

▼財団からのお知らせ

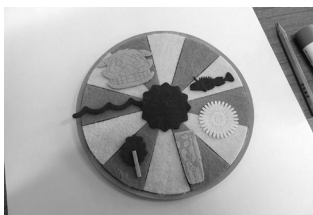
地域創造からのお知らせを毎月掲載します

財団からのお知らせ

●公共ホール現代ダンス活性化事業に関する問い合わせ
芸術環境部 児島・畑・長瀬
Tel. 03-5573-4077・4075
dankatsu@jafra.or.jp

●令和3年度「公立美術館出前(オーダーメイド)型ゼミ」
◎第1回研修会
[日程] 6月10日
[テーマ] 美術館と観光・インバウンド/文化観光拠点化ウォークイン型(予約なし)体験プログラムの開発
[講師] 小野寺志乃(FabLab SENDAI-FLAT)
◎第2回研修会
[日程] 10月16日
[テーマ] 文化施設と他の行政分野との連携
[講師] 柳沢秀行(大原美術館 学芸統括)

●公立美術館出前(オーダーメイド)型ゼミに関する問い合わせ
総務部 三田
Tel. 03-5573-4184



体験プログラムの試作(七ヶ浜町の獅子舞や縄文土器をデコレーションしたダーツセット)

●「公共ホール現代ダンス活性化事業」 2023・2024年度登録アーティスト募集

この事業は、地域創造に登録されたコンテンポラリーダンスのアーティストを地域のホールに派遣し、ホールとの共同企画により地域交流プログラム(アウトリーチ、公募型ワークショップ)や公演を実施するものです。2023・2024年度事業の実施に向けて、登録アーティストを募集します。

アーティストは、ホールが主体となって企画するダンス事業に対し、柔軟な発想によりコンテンポラリーダンスの魅力を最大限に引き出し、ダンス事業を継続していく基盤づくりを目指して地域やホールの特性を活かした事業をつくり上げます。

事業の趣旨にご賛同いただけるアーティストの方々からのご応募をお待ちしております。ま

た、公立文化施設等の担当者の方々には、地域で活躍するアーティストをご紹介いただければ幸いです。

◎2023・2024年度登録アーティスト募集概要

【応募条件】

- ①コンテンポラリーダンスのアーティストとして活動し、自身の作品を発表した経験のある方
- ②ソロまたはデュオで活動ができる方
- ③幅広い層を対象としたアウトリーチや公募型のワークショップを行った実績がある方
- ④公共ホール現代ダンス活性化事業のA・B・Cすべてのプログラムに対応できる方
- ⑤有料公演可能なレパートリー作品を2作品以上お持ちの方

【募集要項】募集要項および応募用紙は当財団ホームページ(<https://www.jafra.or.jp/docs/8039.html>)に掲載しています。詳細は担当までお問い合わせください。

【応募締切】2022年1月19日(水)

【選考日程】2022年2月22日(火)

(書類および映像資料による選考)

●令和3年度「公立美術館出前(オーダーメイド)型研修事業」開催報告

この事業では、美術館のマネジメントに関する研修会を、地域創造と申請館の共催で2年間にわたって実施しています。研修テーマを申請館が希望する内容に沿って組み立てる「オーダーメイド型」で実施しているのが特徴の研修事業です。

今年度は宮城県にある塩竈市杉村惇美術館にて、2回のゼミを開催しました。

令和3年度1回目の研修会テーマは、「ウォークイン型(予約なし)体験プログラムの開発」です。塩竈市は、仙台市と日本三景で知られる松島との中間に位置し、港町の風情や歴史を持つ鹽竈神社もあり観光の名所が豊富な地域です。この研修では、観光客や市外からの来訪者に向けて展示会のほかに美術館を楽しむツールとして、予約なしでできる体験プログラムを検討しました。講師は、レーザーカッターや3Dプリンタ等デジタル工作機械を揃えた工房「FabLab SENDAI-FLAT」の小野寺志乃さんです。当日の研修会では、ワークショップやプロダクトのデザイン・制作に携わる講師から、プログラム開発に係る一連の流れ(ニーズの把握～参考事例や材料の調査～試作～再検討)についてレクチャーを受けた後、試作したプログラムを参加者全員で体験し、感想や改善案を発表し合いました。研修会には普段から来館者向けのワークショップや普及プログラムを実施している文化施設職員が多く出席されていましたが、今回の研修会で開発過程を知

るとともに、実際のプログラムを体験してみて意見交換ができたことから、「今後の業務に活かそうだ」という感想をいただきました。

2回目の研修会は「文化施設と他の行政分野との連携」をテーマとし、柳沢秀行さん(大原美術館 学芸統括)を講師にお招きしました。前半は大原美術館での学校連携や、多くのボランティアの方と共に実施する館全体を使ったイベント「チルドレンズ・アート・ミュージアム」の実践についてお話を伺い、後半はフリートークの場をつくり、美術館は地域のハブとしてどのようなことができるか、参加者同士で意見交換を行いました。

このように「美術館出前(オーダーメイド)型ゼミ」では、地域の特色や現在抱えている課題に沿って研修事業を行なっています。また、現在令和4・5年度の開催地を募集しています(令和4年1月28日(金)締切)。ぜひご応募ください。



研修会の様子(ウォークイン型(予約なし)体験プログラムの開発)

財団からのお知らせ

●令和3年度「公共ホール音楽活性化事業」参加団体

(主会場／アーティスト／日程)

- 岩手県大槌町(大槌町文化交流センター／新野将之(打楽器)／12月3日～5日)
- 秋田県大館市(ほくしか鹿鳴ホール／高橋ドレミ&實川風ピアノデュオ(ピアノデュオ)／10月28日～30日)
- 秋田県横手市(横手市ふれあいセンターかまくら館／石上真由子(ヴァイオリン)／12月2日～4日)
- [中止]秋田県羽後町(羽後町文化交流施設 美里音／竹多倫子(ソプラノ)／11月11日～13日)
- 福島県会津美里町(会津美里町じげんホール／齊藤一也(ピアノ)／12月2日～4日)
- 埼玉県川越市(川越南文化会館ジョイフル／高橋ドレミ&實川風ピアノデュオ(ピアノデュオ)／2022年1月20日～22日)
- 東京都町田市(和光大学ポプリホール鶴川／竹多倫子(ソプラノ)／10月27日～29日)
- 山梨県北杜市(ハケ岳やまびこホール／齊藤一也(ピアノ)／2022年12月9日～11日)
- 山梨県韮崎市(東京エレクトロン韮崎文化ホール／齊藤一也(ピアノ)／2022年2月3日～5日)
- 和歌山県日高川町(日高川交流センター／梅津碧(ソプラノ)／2022年2月16日～19日)
- 鳥取県境港市(境港市文化ホール／石上真由子(ヴァイオリン)／2022年1月25日～27日)
- 山口県岩国市(岩国市民文化会館／竹多倫子(ソプラノ)／2022年3月4日～6日)
- 福岡県中間市(なかもハーモニーホール／新野将之(打楽器)／2022年3月11日～13日)
- [中止]大分県宇佐市(宇佐市内文化交流ホール／新野将之(打楽器)／11月12日～14日)

●公共ホール音楽活性化事業に関する問い合わせ

芸術環境部 森永・山之内
Tel. 03-5573-4069

●令和3年度「公共ホール音楽活性化事業」がスタート

「公共ホール音楽活性化事業(おんかつ)」では、“音楽”を通じて、普段クラシック音楽を聴く機会が少ない方や地域の方々にとって新たな発見や交流の場になることを目指し、全国各地で工夫を凝らしたコンサートとアクティビティ(アウトリーチをはじめとする演奏交流プログラム)を実施しています。

令和3年度は、6組の登録アーティストが全国12カ所の地域に赴き、音楽を届けます。今号ではその中から10月に開催した東京都町田市(10月27日～29日)と秋田県大館市(10月28日～30日)の模様をご紹介します。

町田市は東京都の最南端(島部を除く)に位置する人口約43万人のまちで、都心から電車で約30分の距離にありながら豊かな自然が存在するなど、多様な横顔を併せ持ちます。

一般財団法人町田市文化・国際交流財団の主催で、ソプラノの竹多倫子さん、ピアノの石塚幸子さんによるおんかつを実施しました。

アクティビティは、金井中学校2年生、金井小学校特別支援学級を対象に計4コマ行いました。『オー・ソレ・ミオ』の明るいナポリ民謡から始まった中学校のアクティビティ。生徒の皆さんは、その声量に驚きながら、竹多さんの「夢」についての話や歌声を真剣な表情で聴いていました。小学校では、動物に扮した2人の掛け合いで大盛り上がり。また、『フニクリ・フニクラ』では、楽しく手拍子で参加しました。

最終日のコンサートは、和光大学ポプリホール鶴川で行われました。小中学生を対象としたプログラムで、竹多さんの迫力ながら繊細な歌声と、石塚さんの美しいピアノの音色がホールいっぱいに響き渡り、拍手喝采で3日間のおんかつ事業は幕を閉じました。

大館市は、秋田県の北部に位置する人口約6万8,000人のまちです。市の中央部を秋田県第2位の流域面積をもつ米代川が流下、東側は鹿角市と小坂町に、西側は北秋田市と藤里町、南側は北秋田市、北側は青森県に接しています。

ほくしか鹿鳴ホールの指定管理者である一般財団法人大館市文教振興事業団が主催で、高橋ドレミ&實川風ピアノデュオを招いておんかつを実施しました。

アクティビティは、川口小学校3・4年生、城南小学校4年生、桂城小学校4年生を対象に計4コマ行いました。迫力のある演奏はもちろん、2人

の手の動きをモニターへ映したり、『エジプト女のために』の演奏中は、目を閉じてエジプトの情景をイメージしてもらうなど、充実したプログラムでした。終了後は、手を挙げて質問するなど、子どもたちの反応も良く、一番印象的だったのは、アーティストが帰るときに、子どもたちが自発的に出口まで見送りに行ったことです。

最終日のコンサートは、デュオでの演奏に加え、實川さんはショパンの『英雄ポロネーズ』を、高橋さんはリストの『ラ・カンパネラ』をソロで演奏し、デュオとは違った雰囲気も楽しめました。また、チラシやプログラムを可愛らしいデザインにし、演奏中のマナーガイドもプログラムとともに配布するなど、初めてクラシックコンサートを聴く幅広い世代のお客様にも楽しんでいただけるよう、工夫を凝らした公演となりました。



上：竹多倫子さんによるアクティビティ(町田市立金井中学校2年生)／中：竹多倫子さんによるアクティビティ(町田市立金井小学校特別支援学級)／下：高橋ドレミ&實川風ピアノデュオによるアクティビティ(大館市立城南小学校4年生)

▼財団からのお知らせ

地域創造からのお知らせを毎月掲載します

●令和元・3年度「公共ホール音楽活性化アウトリーチフォーラム事業」市町村公演スタート

本事業は、都道府県等と連携し、地域での演奏活動を通じて創造性豊かな地域づくりに資することを目的としており、令和元・3年度は長野県で実施しています。2年目にあたる今年度は、ピアノ三重奏のル・レーヴピアノ三重奏団、サクソフォン四重奏のModétro Saxophone Ensemble(モデトロ サクソフォン アンサンブル)とQuatuor Élan(クワチュオール エラン)が派遣アーティストとなって、アウトリーチプログラムを開発するための宿泊研修を松本市で実施しました。それを経て、10月から来年1月にかけて長野県内6市村(飯山市、安曇野市、筑北村、伊那市、松川村、茅野市)での市町村公演(小学校等でのアウトリーチとホールでのコンサート)、2022年2月26日に3組のアーティストが再び松本市のキッセイ文化ホールに集結し、ガラコンサートを予定しています。今号では10月13日～16日の日程で開催された松川村公演、10月27日～30日の日程で開催された安曇野市公演についてご紹介します。

松川村ではル・レーヴピアノ三重奏団が村内の小中学校と中学校を訪問し、ピアノ・ヴァイオリン・チェロの特徴や魅力、アーティスト自身の想いや体験談を伝えるアウトリーチを実施しました。子どもたちだけでなく先生方も含め、音楽には演奏側も聴く側もさまざまな感じ方や表現の仕方がある

ことを存分に体験した様子でした。最終日のコンサートではアウトリーチ先の子どもたちも訪れるなど和やかな雰囲気となりました。

安曇野市ではModétro Saxophone Ensembleが市内の小中学校を訪問し、6回のアウトリーチを実施しました。子どもたちが演奏を聴きながら想像力を膨らませることができるようなプログラムとなっており、演奏を聴いてどんな想像をしたのかをアーティストから子どもたちに問いただけると、さまざまな意見が飛び交い、盛り上がる様子が印象的でした。

長野セッションの市町村公演は今後も続きます。事業内容に興味をお持ちの方は、ぜひ一度ご視察ください。



ル・レーヴピアノ三重奏団によるアウトリーチ(松川中学校)

●令和3年度市町村長特別セミナー「地域経営塾」終了報告

地域創造では、文化・芸術による地域づくりへの理解を深めていただくため、全国市町村国際文化研修所(JIAM)との共催により「市町村長特別セミナー『地域経営塾』」を実施しています。今年度は10月28日、29日の2日間にわたって開催され、1日目には文化・芸術によるまちづくりに関する講義と、おんかつ支援登録アーティストによるミニコンサートを実施しました。

劇作家・演出家の佐藤信さんによる講義は「COVID-19以降の公共施設—『広場』と『空き地』—」と題し、これまでの日本の公立文化施設の変遷とCOVID-19以降の社会動向について解説しました。佐藤さんは、コロナ禍を経て人々の考え方が変わり、公共ホールや劇場に求められる役割も変化すると言います。公立文化施設が、地域の属性を活かした事業や住民との交流を行い、人々が自然に集うような場となることで、地域課題解決の糸口に繋がるという内容に、受講者は皆聞き入っていました。

講義に続いて行われた、サクソフォン四重奏「Quatuor B(クワチュール・ベー)」によるミニコンサートは、参加者との距離を取りながらの開催となりましたが、多彩な音色と親しみやすいMCで、サクソフォンやクラシック音楽の魅力を伝えました。唱歌「ふるさと」をテーマにした『ふるさと幻想曲』では、参加者それぞれの故郷の景色とこれからの思い描きながら聴いてほしいと伝え、温かい雰囲気のコンサートとなりました。



佐藤信さんによる講義

●令和元・3年度「公共ホール音楽活性化アウトリーチフォーラム事業」市町村公演実施団体(主会場/派遣アーティスト/日程)

●長野県松川村(松川村多目的交流センター ずの音ホール/ル・レーヴピアノ三重奏団/10月13日～16日)

●長野県安曇野市(安曇野市穂高交流学習センター「みらい」/Modétro Saxophone Ensemble/10月27日～30日)

●長野県飯山市(飯山市文化交流館なちゅら/Quatuor Élan/11月10日～13日)

●長野県伊那市(ニシザワいなっせホール/Quatuor Élan/11月24日～27日)

●長野県筑北村(筑北村本城農村環境改善センター/Modétro Saxophone Ensemble/12月15日～18日)

●長野県茅野市(茅野市民館/ル・レーヴピアノ三重奏団/2022年1月12日～15日)

●公共ホール音楽活性化アウトリーチフォーラム事業に関する問い合わせ

芸術環境部 崎山・河野
Tel. 03-5573-4185

●市町村長特別セミナーに関する問い合わせ

芸術環境部 永田・山之内
Tel. 03-5573-4064

▼—今月のレポート

財団の支援事業や地域の創造活動に参考になる催しを取り上げてレポートします

山梨県富士河口湖町 富士山河口湖 ピアノフェスティバル 2021



屋外での「ピクニック・コンサート」で演奏する辻井伸行(河口湖総合公園芝生広場)
©Tomoko Hidaki

● 富士山河口湖ピアノフェスティバル 2021

【主催】富士河口湖町音楽のまちづくり実行委員会、富士河口湖町
【会期】2021年9月23日～26日
【会場】河口湖ステラシアター、河口湖円形ホール、河口湖美術館、河口湖総合公園
【出演】辻井伸行(ピアニスト・イン・レジデンス)、小曾根真、加古隆、三浦友理枝、アン・セット・シス

*1 富士山河口湖音楽祭

2002年に指揮者の佐渡裕監修(2016年まで)によりスタートした住民参加型創造音楽祭。毎年夏に開催。サポーターズクラブ代表、高等学校吹奏楽部顧問、高校生など町民主体による実行委員会を組織し、企画づくりから当日ボランティアまで担当。1週間を超える会期中、シエナ・ウインド・オーケストラのコンサート、高校生吹奏楽トップチームや中高生特別編成バンドの演奏、クリニックなどのアカデミープログラム、街かどコンサートなど約40プログラムを展開。

*2 富士河口湖町

富士山の北麓、河口湖を囲む人口約2万6,000人の町。2003年に河口湖町・勝山村・足和田村の合併により誕生。河口湖町時代に小佐野常夫町長が「五感に訴える文化の薫り高い町」を目指す五感文化構想を掲げ、拠点施設のひとつとして1995年に河口湖ステラシアターを開設し、直営で運営(2007年に可動屋根を設置)。前年に寄贈された河口湖円形ホール(100人収容)と合わせ、合併後も継続的に音楽事業を展開。

*3 ヴェルトビューネ

ベルリンのシャルロッテンブルク地区にある古代ギリシャの劇場のような巨大な野外音楽堂(森の劇場という意味)。1936年のベルリン・オリンピックで建造され、第2次大戦後に改名。6月最終日曜日にベルリン・フィルが野外演奏会を行うことで有名。

富士山を借景できる野外音楽堂・河口湖ステラシアター(以下、ステラ)。そこで2002年から富士山河口湖音楽祭(*1)を続けてきた富士河口湖町(*2)が、辻井伸行をピアニスト・イン・レジデンスに迎えた富士山河口湖ピアノフェスティバルをスタートした。

小曾根真、加古隆など錚々たるメンバーが出演し、辻井は9月23日から26日までの会期中、野外音楽堂でのソロを皮切りに、河口湖円形ホールでの100人限定コンサート、芝生広場での無料コンサート、最終日のガラコンサートまで走り切った。

アンコールの「トルコ行進曲」ジャズバージョンが鳴り終えた瞬間、3,000席を埋め尽くした聴衆から万雷の拍手が鳴り響いた。すくっと立ち上がった辻井は、いつものように何度も頭を下げながら「ブラボー」のコールに応えていた。雨模様で自慢の富士山こそ見えなかったものの、野外であることを感じさせない辻井独特の音の粒々が、フェスティバルのエンディングを飾った。

それにしても、富士河口湖町の音楽事業への継続的な取り組みには目を見張る。

ステラを運営するために町民サポーターズクラブを育成し、中学・高校の吹奏楽関係者やプロの音楽関係者との信頼関係を地道に構築。開館7年目には、PMFオーケストラの演奏会で交流してきた指揮者の佐渡裕と音楽祭を立ち上げ、今夏で20周年を迎えた。

その間に、6月には観光宿泊施設の閑散期を活かした高校の吹奏楽合宿を誘致し、小中学校への演奏家のアウトリーチを仕掛け、可動屋根が設置されてからは稼働期間を延長してコンサートのジャンルを広げ、音楽祭10周年では280名の合唱団による『カルミナ・ブラーナ』を実現、2019年には音楽祭で1万7,300人、ステラで年間5万3,000人を誘客するまでになった。

そこに今年から、秋のピアノフェスが加わった。旗頭の辻井は、ヴァン・クライバーン国際ピアノコンクール優勝(2009年)から12年、今や誰もが知る世界的なピアニストだ。

こうした音楽事業を準備室から25年以上に

わたって担当してきたのが、現在はステラのマネージャーを務める野沢藤司(文化振興局局長補佐)だ。

「ベルリンのヴェルトビューネ(*3)の音楽祭を映像で見て、これこそがステラが目指すべきクラシック音楽の楽しみ方だと思いました。

夏の音楽祭はすっかり地元に着いたので、20年目の節目に何かできればと思っていました。町にはベーゼンドルファーを備えた円形ホールがあります。これは、音楽を普及してほしいという願いで寄附された施設で、いつかピアノを柱にした企画ができればと考えていました。

辻井さんは町にとって大切なアーティストで、2012年の音楽祭では休日ではない金曜日の演奏会にもかかわらず、3,000席が完売した方です。予算の目途がつけば、いつか辻井さんとフェスをつくりたいと思っていました。可動屋根を製作した(株)横河システム建築が企業版ふるさと納税で支援してくださることになり、『富士河口湖町音楽のまちづくり事業』の一環として実現しました。6月の合宿、夏の音楽祭、秋のフェスに加え、冬にも何か企画できればと思っています」

ステラが生まれて28年目。成長したのは音楽祭だけではない。観光客だけでなく移住者も呼び込み、人口も旧河口湖町エリアを中心に増加している。今年7月にはエンターテインメントビジネスを牽引する(株)アミューズが新本社「アミューズヴィレッジ」を開設するなど、2013年の富士山の世界遺産登録も後押しして、町のブランドイメージは大きく向上している。

そうした充実の背景には、直営というあり方、ボランティアの最終打ち合わせにも顔を出す渡辺喜久男町長の姿勢、長年にわたって現場を見てきたブレない野沢、確かな担い手に育った町民サポーターの存在がある。計画ありきではなく、一つひとつ積み上げた結果として、ここにきて初めて「音楽のまちづくり」を名乗った。

ヴェルトビューネと出会った野沢が夢を膨らませて今日に至ったように、ピアノフェスの辻井の演奏にふれ、観客一人ひとりの夢の扉が開いたようなフェスティバルの誕生だった。

(ノンフィクション作家・神山典士)